

第6学年 家庭科学学習指導案

防府市立西浦小学校
教諭 平野 幸世

1 題材名 楽しい食事をつくろう 「食品の適切な選び方」

2 本時の学習（平成22年12月8日 3校時 家庭科室）

(1) 主眼 ウインナーソーセージの品質などを比較する活動を通して、安全や健康を考えるとともに、目的に応じて食品を選ぶことについて関心を高めることができる。

(2) 準備 ネームプレート、ウインナーソーセージ、包装袋のプリント、ワークシート、掲示資料
フラッシュカード、ピーカー、亜硝酸テスター

(3) 展開

○ 前時の取組 ジャガイモをゆでて、ジャーマンポテトを調理する。（弁当作り計画：宿題）

学習活動・内容	子どもの意識の流れ	指導上の留意点・評価
1 自慢の手作り弁当に入りたいメニューを発表する。 ・弁当作りへの意欲 2 ウインナーソーセージの実物をもとに、気付いたことを発表する。 ・生活経験に基づいた好きなウインナーの選択 ・比較検討の必要性	・ウインナー、卵焼き、ポテトサラダ、ゆで卵、ベーコン炒め、ブロッコリーなど。 ・赤いウインナーがタコウインナーにびったりでいいな。 ・いつも食べているのに似ているからこれを選ぶよ。 ・安全や健康のことを考えたら、どれを選んだらいいのかな。調べてみよう。	○計画中の弁当の図を提示し、栄養バランスや色取りなどの工夫を紹介し、弁当作りへの期待を高める。 ○3種類の実物を提示し、「どれを選ぶ？」と問いかけて、自分なりの根拠をもって選択させたい。 ○栄養士さんの給食の食材選びの工夫や苦労について紹介し、様々な観点から食品を選ぶことの必要性に気付かせる。
どのウインナーを選ぶかを考えて、わけを話し合おう。		
3 ウインナーソーセージを買うときに調べたいことを考え、商品を比較検討する。 ・ウインナーの選び方 品質、食品添加物、値段、新鮮さ、味、形など ・品質表示の見方 ・情報を収集する能力	・まず値段を調べてみよう。 ・品質を調べたいな。 ・色々な材料でできているんだな。 ・よく分からない材料もあるぞ。発色剤ってなんだろ。 ・発色剤でおいしそうな色にしてあるんだな。 ・好みの味も考えて総合的に見ると、Aを選ぶよ。	○ウインナーの品質表示等を提示したり、試食・食品添加物などのコーナーを設け、各自の選ぶ観点到に応じて調べ活動に取り組みせたい。 ○より多くの選び方に着目している児童や観点を決めて吟味している児童の取組のすばらしさを価値付けて、他の児童にも広める。 【評】選び方について、自分なりの考えをもっている。（ワークシート）
4 買うときにどんなことに気を付けて選ぶか話し合う。 ・安全なよい品質のものを選ぶこと ・目的に応じて選ぶこと	・食品を選ぶ時には、健康や安全のことも考えて、良い品を選ぶことが大切だな。 ・品質表示はそのための大切な手がかりなんだ。	○安全性を考えた選び方は、健康な食生活に大切であることをおさえ、品質表示の活用を促したい。 ○食品選びでこだわりたいことの度合いを円グラフに表しながら、話し合いを深めたい。
5 本時のまとめをする。 ・友達の見方・考え方のよさ ・自分の見方・考え方の変容や深まり ・食生活への関心	・はじめはAを選ぼうと思ったけど、品質を調べたりみんなの意見を聞いたりしてBを選ぶことにしたよ。 ・やっぱり、Cを選んでよかったな。 ・他の加工食品を選ぶ時にも気を付けたいな。	○調理方法のひとつ工夫で食品添加物の摂取を減らすウインナーの調理事例を紹介し、今後の家庭科学学習への期待感を高めたい。 【評】加工食品の適切な選び方について、関心が高まっている。（観察・ワークシート）

○ 次時（家庭学習）の取組 家にある加工食品の品質表示を調べる。 など